

平成31年度
三田市予算編成に関する
要望書

新政みらい

田中一良 佐貫尚子 北本節代 中田哲 厚地弘行

平成31年度三田市予算編成に関する要望事項

会派 新政みらい

【まちづくり】

(ソフト施策)

- まち協や自治会への事業委託 (防犯パトロール、歩道の草刈り、公園の剪定、住民アンケート回収、広報紙配布などを通じて自治意識を高める)
 - ・ まち協と自治会の役割検討 重複している所は不要
 - ・ 愛犬家による地域パトロール隊を組織する 犬の散歩や通学時間に合わせた活動を
- 地域担当制を見直し (何でも相談できる地域相談員を配置する)
- 交通体制の充実
 - ① バス事業者と住民と市の協議によりニーズにあったバス路線に見直す。
 - ② バス、タクシー、送迎など高齢者が移動に困らない施策を早期に実施する。
- 体験ボランティア事業 を起こしボランティア意識の向上を図る
 - ・ スポーツクラブ21は本来の目的に沿ったものに 多世代が多種類のスポーツを楽しむ組織運営にすることで、中学生のクラブ活動にも代わるものとするができる
- 空き家対策のPRの強化 (とくにニュータウンの空き家情報をつかむための更なる工夫が必要。わかりやすいチラシの作成、宅建協会との連携)
- 空き家、空き部屋の活用 「学生シェアハウス」「老人と学生」「老人同士」の研究
- 子育て世帯親元近居助成事業の年齢制限を45歳まで引き上げる 介護と子育ての支え合い
- マスターズマラソンの陸連登録選手は記録を意識するためスタートの位置を前にする
 - マラソンのゲストランナーは特定の有名人に定めて、三田のPRを毎年行ってもらう。
- グランドゴルフ大会を有馬富士共生センター横の芝生で開催する
 - ・ 城山陸上競技場の利用時間を夜9時まで可能にする (体育館は9時までできている)

(ハード施策)

- 各市民センター等への無線LANの整備 (高平交流センターが残っている)
- 新三田駅にエスカレーターを設置をJRに要望する
- カルチャータウン商業施設用地の充実
 - ① 市民センター分館機能 ② 学生寮の誘致
 - ③ 大学を入れた「まちづくり協議会の設置等」 ④ 国際交流の拠点施設
- 広野駅前の活性化
- 相野駅前周辺整備、市道下相野ー広野線、JR相野踏切の拡幅、土地区画整理の早期実現
- つつじが丘内の市有地の利用の検討
- 本庄文化センターの利用の検討
- 道路の早期整備
 - (主要地方道三田西インター線、市道寺垣内線の拡幅 他)
- 市道の白線表示の劣化が著しい、早期改善を求む。国道、県道についても要望する。
- 市道広野下相野線を車両の時間帯規制をする 高校生の自転車通学の安全のために

- 防犯カメラの増設（主要道路、駐輪場、通学路、商業施設他危険個所に）
- 雨水側溝管理の徹底を行い市街地の浸水を防止
- ニセアカシアの街路樹を他の樹木へ転換する
- 歩道の根上がり補修整備と街路樹の間隔の見直し、維持管理費削減のための検討を行う
- 市道の草刈りが十分にできていないので対策を検討する
- LED化の完全実施 街路灯、防犯灯の市内照明器具
- 武庫川の土砂の堆積についての調査と浚渫を兵庫県に要望する（木や草が生い茂っている）
- 公園の高齢者用健康遊具の移設（使われていない物がある。移設する必要がある）
- 人工芝生グラウンドの夜間照明の増設
- 人工芝生グラウンド横の土のグラウンドを有料にして収入増にする
- ふれあいプールは存続させる。必要なら使用料を上げる。
 - 熊野の郷の跡地は健康増進ゾーンにあった施設を維持する
- ニュータウンでは丁目ごとに地域拠点が必要（高齢者集い、子育て、仲間づくり）
- 農村部では公設民営の商店が必要

【教育・文化】

- 基礎学力習得の徹底（習熟度別クラス編成、地域の人材・学生・塾講師による放課後の指導）
- 英語力の強化対策
 - ①義務教育においてスカイプ等を用いた姉妹都市間でのフランクな語学教育
 - ②教育者にも語学研修（海外派遣研修）の制度を三田市独自で取り入れる。
- 道徳教育の強化（社会の規範意識、規則正しい生活習慣（箸の正しい持ち方等）を身につけるなどの教育を具体的に進める）
- 解放学級の見直し（被差別地区に限った解放学級は、被差別地区を残すことにならないか検討が必要。）
- 近代史の学習の充実 本当の平和教育に見直す
- 日本伝統文化（茶道、和装等）を教育の一環として導入
- ネットいじめ防止対策を強化
- 合理的配慮の必要な児童・生徒に対応するカリキュラムを研究する
- 入学・卒業式を厳粛なものに（年々演出的になっている。曲数多すぎる。送辞は代表1名で）
- 学校給食の充実
 - ①学校給食の地場産野菜等自給率の向上。
 - ②残された給食残渣の堆肥化等食育の一環として取り組みを進める。
 - ③三田の充実した学校給食の情報を市内外へ発信する。
- 小学校がんばりタイムを更に充実させる
- 小学校でも癌についての理解を広める学習をする
- 小学校の芝生化を広める（広野小学校を例に）
- 放課後児童クラブは地域力で行う（児童のタクシー送迎は廃止する）
- 家庭教育への支援 チームによるアウトリーチ型支援の導入など
- 中学校部活動での外部指導者の採用（スポーツ21や民間事業者に委ねた指導者を導入）

- 中学校でカウンセラー以外にも相談できる人を配置する
- 全国規模の川本幸民賞を創設する 理科の実験や数学に関して (ふるさと納税の活用も)
- 高校生・中学生の留学、交換留学を実施、補助する (ふるさと納税の活用も)
 - ・ 高校生、中学生の学習の場を増やす 市民センター内や学校空き教室など
- 姉妹都市交流の市の支援はもっと積極的にするべき、
 - ・ 濟州市との交流は再検討が必要
- 図書館費の運営費削減を更に進める
- 集いの円形広場の活用 (弥生が丘6丁目)

【市民病院】

- どのような形でも市民の命を守る中核病院を三田市内に存続させる
 - 市民病院の現状をわかりやすく市民に伝える
- 小児科、産科、麻酔科など医師・看護師不足を解消する
- 医師を目指す学生への給付型奨学金制度の導入 (三田で一定期間医師になることを条件に)
- コンビニ受診を減らす啓発 (三田健康医療相談ダイヤル24 や #8000 の活用、医師講習会等)
- ジェネリック薬品の導入推進 薬品の品質・安全性を十分に考慮する
- 院内薬局の再検討
- 車イス対応トイレの不足 (入院患者から各フロアにおいて不足の声を聞く、要対応の検討)
- 二階玄関口の障害者用駐車場付近が混雑するので改善する

【福祉・保健】

- ・ 待機児童の解消 自宅や空き教室を使った保育事業
- 高齢者の外出支援の充実
- 認知症対策を様々に行う 認知症カフェの支援など
 - ・ 若年性認知症への支援
- 失語症の人の回復のための言語聴覚士を採用する
- 民生児童委員及び健康推進委員OB (経験者) の活躍の場の検討
- データーヘルス計画を基に病気予防を徹底し、医療費の削減を目指す。
 - (特に透析患者にならないための取り組み)
- 緑内障の健診を広報紙などで勧めていく
- 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診率アップを図る
- 自殺防止施策の充実 (県事業の周知徹底など)

【農業・商工業】

- 市内生産物のブランド力を高める
- 農業後継者への支援

- 農業者の例外的野焼き問題の解消 農業者、市民への周知徹底
- 耕作放棄地の解消。就農を目指す借り手と農家の貸し手のニーズ把握、仲介を行う。
- 農機具等のリース事業で、新規の就農者への支援を図る
- 農業戦略会議の活性化及び、J A兵庫六甲との戦略の共有化を図る。
- 農村部とニュータウンの人的応援交流
 - (ア) 里山づくりに応援 (イ) 歩道の除草作業などの指導や機械の提供に応援
- 6次産業化を推進する
- 儲かる農業の研究 (ア) 松茸 (イ) 薬草 (ウ) 蜜花 (エ) 無農薬野菜 (オ) 輸出
- 畜産の職場体験を設けて、志のある若手を発掘し育てる。
- 地域おこし隊を更に増員する。市内の空き家に入居してもらうよう
 - ・ キッピーモール6階の経費削減 (貸店舗など創業支援センターとして床貸)
 - ・ 勤労者福祉事業の対象団体の見直し 公平性の観点から

【観光施策】

- 三田駅周辺の空き店舗を活用した三田のスイーツコーナーを設ける
- シーズンイベントを実施する (春は菜の花、夏は向日葵・夜空天体観察や蛍鑑賞、秋はコスモスやそばの花プロジェクト、枝豆収穫ツアー等)
- 武庫川の散歩道を上記のイベント等と組み合わせて観光にも役立たせる
- 桜ウォークを発展させる (途中で演奏や物販、スイーツフェスティバルを取り込むなど)
- 農業エリアでの民泊事業 観光を目的として実施
- 鹿・猪の解体ができる食肉センターの建設 ジビエ用食材として
 - (篠山市など近隣市との連携、多可町ではドッグフードに加工販売している)
- 三田の食材を使用した季節弁当コンテストの開催を行い、三田の味覚として駅弁、桜ウォーク、農業まつりで販売する。
- 歴史・文化を活かした観光産業 物産だけではなく
- オープンガーデンを大規模に発展 国際公園都市のイメージを発信する
- 有馬富士公園内にバーベキューコーナーを設けるなど集客力を高める
- 三田特産のお土産売り場の設置
- 新ビジネスの募集・審査や開業資金を市独自で融資する。
- 空き店舗の入居者の募集 ホームページや広報紙等で市内外へ
 - ・ ゴルフ場を活かしたイベントを考案する 小学生のゴルフ大会など
 - ・ ふるさと学習館を集客できる施設として活性化させる
 - ・ 三田の民話を訪ねてのツアーを継続させる

【環境】

- ・ 高齢化に伴う粗大ごみなどの遺品整理、搬出システムを検討する
- 家庭生ごみの排出量抑制
- 新たなごみ処理施設の建設計画

- 土曜日のごみ収集日を廃止する 収集日の見直し
- ごみの福祉収集の実施 (高齢化への対応、近隣市で多くの事例あり)
- 再生可能エネルギーの研究 (バイオマス・太陽光・小水力など)
- 山林の管理方法を研究する 所有者不明の山や里山、水路、河川を含めて
- 松枯れ、ナラ枯れ対策の拡充 (薬を注入、木炭を山に散布するなど)
- 森林伐採木のパトロール等指導を実施する
(山林の伐採木がゲリラ豪雨で流出し新たな災害を発生している)

【企 画】【総 務】

- ・ ふるさと納税のリピーター率の向上策、転出者へのチラシ配布
- 市の施行記念式典の廃止含め抜本的に見直す
- 庁舎受付業務を常時1名体制にとどめる
 - ・ 本庁舎1階ロビーの活用 (青野ダムの歴史、青磁等の展示、企業PR、市民の打合せなど)
 - ・ 庁舎の駐輪スペースなどの除草が必要
 - ・ 市の課題などユーチューブで情報発信する
- 施設白書の情報を市民に提供する (施設の維持費の負担についての理解を広める)
- 選挙開票作業のスピードアップ (体育館に投票箱が集まった時点で開票作業に入る事など)

【防 災】

- 災害時の情報発信の方法を再検討する
(避難勧告の時の情報が行き渡っていない。臨時災害用FMラジオ、デジタル無線、防災ラジオ、Jcom、eoネットなど様々な検討が必要)
- ・ 避難所に簡易ベッドなど寝ることのできる体制
- ・ 避難所での職員OBの協力を募集する

【職 員】

- 職員の電話マナー、接遇能力の向上
- 目標管理と責任を明確にし、働きに応じた給与とする
 - ・ 職員の昇進について選択できる制度にする
- 職員の学習や資格所得への支援
- 専門職の採用と育成 福祉 土木、建築、電気、IT、機械、化学等
- 提案制度の活性化、プレゼンや表彰制度の活用で職員の意欲と職場風土を改善する
- 他都市の先進事例への出張を充実する
- 災害時の職員の緊急出動を考え、市内居住者を増やすための手当等を検討する
- 職員組合との交渉議事録を公開 内容を組合側だけでなく当局側も明らかにする。
- 業務中の交通事故を減少策
(運転無事故日数の表記、ドライブレコーダーの全車設置など)

以 上